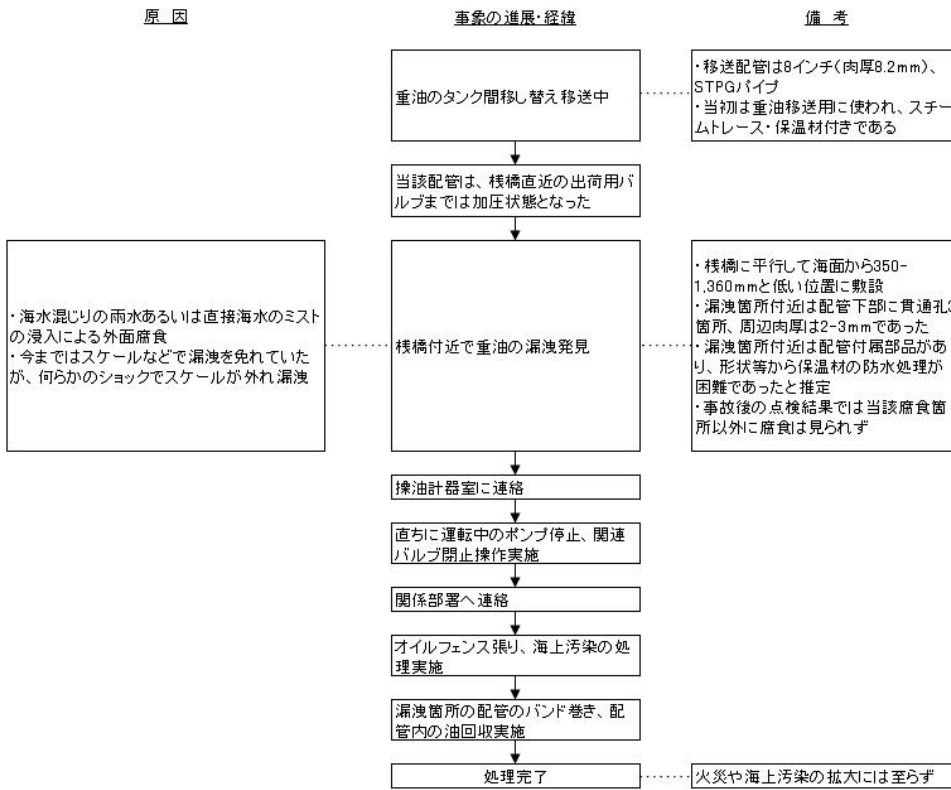




棧橋より重油受入れ配管からの重油漏洩

事象進展図

00125	棧橋より重油受入れ配管からの重油漏洩
発災年月日	1990年10月11日
装置	棧橋(タンクヤード)
運転状況	定常運転中(重油タンク間移送中)
特徴	スチームトレース・保温付き配管の施工・点検が困難な箇所での外面腐食による開口と重油漏洩



再発防止策
<ul style="list-style-type: none"> ・類似配管の点検の実施、および点検方法・周期の見直し ・通報遅れがあったので通報体制の見直しおよび再教育の実施
安全専門家コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・トレースによる保温は塩素水の存在下で腐食を増大させることはよく知られていることである ・断熱施工で雨じまいの困難な箇所の施工方法を工夫する必要がある。例えば防食塗装を施す ・○重油配管をA重油配管に転用したため、不要な保温及びスチームトレースが撤去することなく残され、転用時に保温・スチームトレースを撤去していれば点検検査も容易で腐食も進行しなかったと思われる ・改造・転用等において不要なものは管理が疎かになるのでできるだけ撤去し、シンプルにすることが望ましい

引き金事象発生の原因
<ul style="list-style-type: none"> ・配管付属部品があり、複雑かつ海水のミストが浸入し外面腐食発生 ・何らかのショックでスケールが外れ貫通孔発生

事故の引き金事象
外面腐食による開口

事故に関係した直接・間接要因
<ul style="list-style-type: none"> 《工事・施工要因》 ・工事方法不適切 《設計要因》 ・機器・配管設計不良 《保守・点検要因》 ・保守・保全不良



棧橋より重油受入れ配管からの重油漏洩

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

・川崎市消防局予防部保安課、移送取扱所重油受入れ配管から危険物漏洩事故概要、川崎市コンビナート安全対策委員会資料

▶ 添付資料

▶ キーワード(>同義語)

🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備

🔑 配管 > パイプ

🔑 海上入出荷系

▶ 関連情報